



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日

上場会社名 株式会社ルネサンス 上場取引所 東
 コード番号 2378 URL <https://www.s-renaissance.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)岡本 利治
 問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員最高財務責任者 (氏名)安澤 嘉丞 (TEL)03-5600-7811
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	30,312	10.2	498	△31.4	229	△51.1	12	△97.4
2022年3月期第3四半期	27,505	28.1	726	—	468	—	485	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △26百万円(—%) 2022年3月期第3四半期 450百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	0.67	—
2022年3月期第3四半期	25.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	41,115	10,143	24.7
2022年3月期	38,189	10,321	27.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 10,143百万円 2022年3月期 10,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	2.00	—	4.00	6.00
2023年3月期	—	4.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	10.5	1,000	9.5	700	10.6	550	7.1	29.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	21,379,000株	2022年3月期	21,379,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,490,706株	2022年3月期	2,490,706株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	18,888,294株	2022年3月期3Q	18,888,294株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）1ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)においては、スポーツクラブにおける新規入会者数が順調に推移したこと等から、売上高は概ね計画通りの水準で推移しました。一方で、資源価格の高騰等により光熱費単価が上昇し、経費支出が想定を上回りました。この結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高303億12百万円(前年同期比10.2%増)、営業利益4億98百万円(前年同期比31.4%減)、経常利益2億29百万円(前年同期比51.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益12百万円(前年同期比97.4%減)となりました。なお、上記の数値には、8月に2施設、11月に1施設開業した総合型スポーツクラブの開業費用約4億円等を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、「本感染症」といいます。)に伴う行動制限及び入国制限の緩和により人流が増加し、景気回復の兆しが見え始めました。一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や資源・原材料価格の高騰、円安の進行による物価上昇等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは「生きがい創造企業」という企業理念のもと、「人生100年時代を豊かにする健康のソリューションカンパニー」を長期ビジョンに掲げ、人生100年時代の到来とともに重要性が高まる、生涯現役で働くための健康維持・増進や、医療費等の社会保障費の抑制につながる「治療から予防へ」の取り組みを通じ、健康長寿社会の実現及び地域の社会課題の解決に取り組んでまいりました。

スポーツクラブ事業では、プール、お風呂、サウナ等の総合型スポーツクラブならではのアイテムを訴求し、好評をいただいた結果、フィットネス会員の新規入会者数が好調に推移し、当第3四半期連結会計期間末の在籍会員数は、370,173名(うちオンライン会員数32,818名)(前年同期比12.7%増)となりました。また、10の既存施設におけるジムのフリーウェイトゾーンの拡充を中心としたリニューアルの実施や、少人数制のフィットネススクール会員を対象に、会員同士が交流できるファンコミュニティサイト「RENAISSANCEColors(ルネサンスカラーズ)」をトライアルで立ち上げるなど、お客様にとっての価値向上に取り組んでまいりました。一方、政府の節電要請を受け、夏季(7月～9月)及び冬季(12月～3月予定)において、節電対策を講じてまいりましたが、資源価格の高騰による光熱費の上昇は想定を上回る結果となりました。なお、当第3四半期連結累計期間においては、8月に「スポーツクラブ ルネサンス・イオンタウンふじみ野24」(埼玉県ふじみ野市)と「スポーツクラブ ルネサンス 海老名ビナガーデンズ24」(神奈川県海老名市)、11月に「スポーツクラブ ルネサンス 蒔田24」(神奈川県横浜市)の、総合型スポーツクラブ3施設を開業いたしました。

介護リハビリ事業では、リハビリ特化型デイサービス「元氣ジム」のFC加盟店の拡大に向けた営業及び支援体制の強化を行い、当第3四半期連結累計期間において3施設を新規開設しました。同直営施設については、12月に脳卒中特化型通所介護施設「ルネサンス リハビリセンター蒔田」及び訪問看護ステーション「ルネサンス リハビリステーション蒔田」の2施設を開設しました。さらに2023年2月には、放課後等デイサービス「ルネサンス 元氣ジムJr. 蒔田」の開設を予定しております。これらの3施設については、「スポーツクラブ ルネサンス 蒔田24」に併設しており、スポーツクラブと介護リハビリ施設のシナジーを高めながら、地域の皆さまの健康づくりに貢献してまいります。

また、他社の介護事業施設への支援として、SOMPOケア株式会社(東京都品川区)が運営する介護施設及び介護事業所70か所以上を繋いでオンラインでの体操教室を実施し、入居者様や利用者様のコロナ禍における機能低下の防止に取り組んでまいりました。

さらに、当社がこれまで取り組んできた運動プログラム及び個別機能訓練加算並びに口腔機能向上加算の取得ノウハウを、他の通所介護施設に向けて提供する新たなサービス「R-Smart」の販売を、10月より開始しました。本サービスを通じて、通所介護施設の利用者の身体機能向上による顧客満足度向上の促進と業務効率化による介護施設に勤務する職員の満足度向上を目指してまいります。

企業・健康保険組合に向けた事業では、オンラインレッスンサービス「RENAISSANCE Online Livestream（以下、「ROL」といいます。）」において、レッスンの増設や新たなプログラムの導入並びに定員数の拡大を行い、より多くの方が場所を問わず気軽に健康づくりができるよう、サービスの拡充に取り組んでまいりました。ROLは、当社スポーツクラブの会員に利用資格を無料で付帯しているほか、住友生命保険相互会社（大阪府大阪市中央区）が販売する健康増進型保険”住友生命「Vitality」”会員のROL利用者の増加や、10月より新たに大同生命保険株式会社（大阪府大阪市西区）の中小企業向け健康経営総合支援ツール「KENCO SUPPORT PROGRAM」へROLの提供を開始するなど、企業・健康保険組合に向けて事業を拡大しております。また、法人向けサービスとしては、新たなプログラム「転倒災害予防のための『からだチェック&エクササイズ』」の提供を9月より開始し、企業の従業員が安全に働ける環境や身体づくり等、健康経営を支援する取り組みを強化しております。

11月には、当社が事務局企業を務める、健康経営会議10周年記念事業「健康経営会議2022」を開催し、申し込みが1,000名を超え、765名（572社）に参加いただきました。10周年記念セミナーでは、一橋大学CFO教育研究センター長伊藤邦雄氏、NPO法人健康経営研究会 理事長 岡田邦夫氏、経済産業省 商務・サービス審議官 茂木正氏を講師として迎え、人的資本経営の観点からの健康経営の必要性について、活発な議論を行いました。引き続き企業における健康経営の実践を広く普及し、日本の健康寿命の延伸を積極的に支援してまいります。

自治体に向けた事業では、総務省が支援する「地域活性化起業人制度」等を通じて16の自治体へ当社従業員を派遣し、地域が抱える健康課題の解決、派遣先自治体のPR、派遣先となる拠点施設における健康に関する住民の支援に係る企画等に取り組んでおります。また、スポーツクラブ周辺の自治体に向けて、一般介護予防教室の実施や地域の介護予防活動の支援に取り組み、主にシニアの方が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを送るためのサポートを行っております。

ベトナム国におけるスポーツクラブ事業においては、ベトナム政府のwithコロナ政策と本感染症の状況の改善に伴い、消費活動が活発化しております。ハノイ市及びビンズオン省の2施設とともに、当第3四半期連結累計期間における新規入会者数及び在籍会員数は順調に推移しました。

当第3四半期連結累計期間においては、下表の施設を新規出店、退店した結果、株式会社BEACH TOWNの施設を含む当第3四半期連結会計期間末の当社グループの施設数は、スポーツクラブ130施設（直営105施設、業務受託23施設、ルネサンス ベトナム2施設）、スタジオ業態2施設、介護リハビリ41施設（直営31施設、フランチャイズ10施設）、アウトドアフィットネス16施設（直営6施設、業務受託10施設）の計189施設となりました。

出店・開設時期	施設名	施設形態
2022年5月	ルネサンス ケアステーション戸塚（神奈川県横浜市）	介護リハビリ（直営）
2022年5月	ルネサンス 元氣ジム大泉学園（東京都練馬区）	介護リハビリ（FC）
2022年5月	ATHLETA ATHLETIC CLUB（東京都墨田区）	アウトドアフィットネス（業務受託）
2022年6月	BEACHTOWN HIBIYA PARK（東京都千代田区）	アウトドアフィットネス（直営）
2022年7月	ルネサンス 元氣ジムいわき中央台（福島県いわき市）	介護リハビリ（FC）
2022年8月	スポーツクラブ ルネサンス・イオンタウンふじみ野24（埼玉県ふじみ野市）	スポーツクラブ
2022年8月	スポーツクラブ ルネサンス 海老名ビナガーデンズ24（神奈川県海老名市）	スポーツクラブ
2022年9月	ルネサンス 元氣ジム鹿児島中央（鹿児島県鹿児島市）	介護リハビリ（FC）
2022年11月	スポーツクラブ ルネサンス 蒔田24（神奈川県横浜市）	スポーツクラブ
2022年12月	ルネサンス リハビリセンター蒔田（同上）※	介護リハビリ（直営）
2022年12月	ルネサンス リハビリステーション蒔田（同上）※	介護リハビリ（直営）

退店・受託 終了時期	施設名	施設形態
2022年6月末	ドゥミ ルネサンス ライブストリームスタジオ池袋東口店 (東京都豊島区)	スタジオ業態 (新業態)
2022年6月末	フィットネススタジオ ルネサンス五反田 (東京都品川区)	スタジオ業態 (新業態)
2022年7月末	Community Park KOBE (兵庫県神戸市)	アウトドアフィットネス (直営)
2022年8月末	スポーツクラブ ルネサンス 海老名 (神奈川県海老名市)	スポーツクラブ (業務受託)
2022年9月末	リーヴ新百合ヶ丘フットサルクラブ (神奈川県川崎市)	その他 (業務受託)

また、第4四半期連結会計期間以降は、下表の施設の新規開設を予定しております。

出店・開設 時期	施設名	施設形態
2023年2月	ルネサンス 元氣ジムJr. 蒔田 (神奈川県横浜市) ※	介護リハビリ (直営)
2023年4月	BEACHTOWN OND PARK (佐賀県武雄市)	アウトドアフィットネス (業務受託)
2023年 夏	スポーツクラブ&スパ ルネサンス 今里24 (仮称) (大阪府大阪市)	スポーツクラブ
2023年 夏	スポーツクラブ ルネサンス 仙台卸町24 (仮称) (宮城県仙台市)	スポーツクラブ
2023年 秋	スポーツクラブ ルネサンス 光の森24 (仮称) (熊本県菊陽町)	スポーツクラブ
2023年 秋	スポーツクラブ ルネサンス・イオンモール座間24 (仮称) (神奈川県座間市)	スポーツクラブ

※「スポーツクラブ ルネサンス 蒔田24」に併設

なお、2022年11月11日に公表の「第三者割当によるA種種類株式、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債及び第2回新株予約権の発行並びに定款の一部変更に関するお知らせ」及び「事業提携に関するお知らせ」のとおり、当社は、企業価値向上と持続的な成長に向けて、アドバンテッジアドバイザーズ株式会社（以下、「アドバンテッジアドバイザーズ」といいます。）がサービスを提供しているファンからの約50億円の資金調達及び同社との事業提携契約の締結を決議しました。同契約のもと、①事業ポートフォリオを踏まえた最適な経営・人員体制整備等の組織体制づくり、②スポーツクラブ事業の事業拡大・付加価値向上に向けた、開発体制強化・出店地域の拡大、及びDXを活用したオペレーション効率化・新規サービスの開発、③成長領域と位置付けるヘルスケア事業における介護リハビリ施設物件の開発体制を整備・強化することによる出店加速、④「健康」を軸とした、社会課題に対応する新規ビジネスへの挑戦、の4点を重点施策と位置づけ、優先すべきテーマとして、スポーツクラブの収益性向上を目的としたDX推進の取り組みを開始しております。今後さらに、コロナ禍によってダメージを受けたフィットネス業界の再編成を見据え、体制整備を行ってまいります。

なお、2023年1月20日開催の臨時株主総会において、「定款の一部変更」及び「第三者割当によるA種種類株式、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債及び第2回新株予約権の発行の件」について、決議しております。

《新設会社「株式会社東急スポーツオアシス」への資本参加に関して》

当社は本日、東急不動産株式会社の子会社である株式会社東急スポーツオアシス（以下、「東急スポーツオアシス」といいます。）のフィットネス運営、ホームフィットネス、スポーツ施設の管理運営受託及びデジタルヘルスデザインの各事業を会社分割により承継する新設会社（以下、「新東急スポーツオアシス」といいます。）の株式の一部（40.0%）を、2023年3月31日付で取得すること（以下、「本資本参加」といいます。）を決議しました。

当社は、「わたしたちルネサンスは『生きがい創造企業』としてお客様に健康で快適なライフスタイルを提案します。」という企業理念のもと、国内に直営107店舗（2023年1月末現在）展開するフィットネスクラブ、スイミング・テニス・ゴルフスクール等のスポーツクラブ事業を中核としながら、自治体や企業等での健康づくり事業、介護リハビリ事業をはじめ、健康をキーワードに多様な事業を展開しております。さらに、これらの事業に「オンライン」、「デジタルコミュニケーション」等の価値を付加し、新たな健康づくりの機会とサービスの提供に取り組んでおります。

東急スポーツオアシスは、1985年に東急不動産の子会社として設立され、首都圏及び関西圏を中心に32店舗（2023年1月末現在）を展開する会員制フィットネスクラブ「東急スポーツオアシス」の運営を中核として業容を拡大してきました。近年では、社会全体の健康に対する関心の高まりを受け、企業ミッションとして「Well-being First!」を掲げ、

フィットネスクラブの運営に留まらないウェルビーイング総合カンパニーを目指し、フィットネス関連商品の開発及び販売、アプリ等のデジタルツールを通じたエクササイズ機会の提供等の新たなサービスにより、健康に関心のあるあらゆる方々を対象とした幅広い事業展開を進めております。

当社と目指す方向性が近く、フィットネス業界において、ホームフィットネス及びデジタルヘルスデザイン事業のトップランナーであり、豊富なデジタルコンテンツ及びコンテンツ開発力等、当社と補完関係にある事業を有する新東急スポーツオアシスとパートナーシップを結ぶことは、お客さまへの付加価値提供の強化ひいてはフィットネス業界という括りを越えた、より多世代、多様な方々の健康課題の解決のサポートが実現可能になると判断し、本資本参加を実施することといたしました。

本資本参加以降は、新東急スポーツオアシスと当社の合算で国内に直営約140店舗の規模を有する、フィットネス業界において売上で最大規模の企業グループとなります。今後、両社のリソースやノウハウを相互活用し、事業の再成長と業界の発展に寄与してまいります。詳細は、本日公表の「新設会社『株式会社東急スポーツオアシス』への資本参加に関するお知らせ」をご覧ください。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ29億26百万円増加し、411億15百万円となりました。これは主にリース資産が増加したこと等により固定資産合計29億11百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ31億4百万円増加し、309億71百万円となりました。これは主に短期借入金が増加したこと等により流動負債合計が10億16百万円増加した他、リース債務が増加したこと等により固定負債合計が20億87百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億78百万円減少し、101億43百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益12百万円を計上したこと、配当金1億51百万円を支払ったことにより利益剰余金が1億38百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、2022年11月11日に公表した前回予想から変更はございません。今後、通期連結業績予想の修正が生じる場合は、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,841,060	4,511,197
売掛金	1,051,987	1,041,286
商品	243,628	249,756
その他	1,546,070	1,896,654
貸倒引当金	△8,295	△9,372
流動資産合計	7,674,451	7,689,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,902,554	6,095,346
リース資産(純額)	9,075,334	11,198,034
その他(純額)	2,332,904	3,099,289
有形固定資産合計	17,310,793	20,392,670
無形固定資産	635,537	518,821
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,458,356	8,814,993
その他	4,109,903	3,699,118
投資その他の資産合計	12,568,260	12,514,112
固定資産合計	30,514,590	33,425,604
資産合計	38,189,042	41,115,126
負債の部		
流動負債		
買掛金	60,482	57,440
短期借入金	1,850,000	3,400,000
1年内返済予定の長期借入金	2,103,084	2,303,084
未払法人税等	332,476	92,564
賞与引当金	493,778	310,529
資産除去債務	25,846	53,784
その他	4,818,517	4,482,976
流動負債合計	9,684,185	10,700,378
固定負債		
長期借入金	4,874,805	4,302,492
リース債務	9,456,574	11,599,091
退職給付に係る負債	825,151	851,124
資産除去債務	1,308,481	1,352,407
その他	1,717,908	2,165,720
固定負債合計	18,182,920	20,270,835
負債合計	27,867,105	30,971,213

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210,380	2,210,380
資本剰余金	4,813,515	4,813,515
利益剰余金	5,936,804	5,798,266
自己株式	△2,514,753	△2,514,753
株主資本合計	10,445,945	10,307,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,176	4,736
為替換算調整勘定	△95,557	△136,005
退職給付に係る調整累計額	△37,934	△32,226
その他の包括利益累計額合計	△127,316	△163,494
非支配株主持分	3,306	—
純資産合計	10,321,936	10,143,913
負債純資産合計	38,189,042	41,115,126

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	27,505,715	30,312,830
売上原価	25,213,550	28,137,724
売上総利益	2,292,165	2,175,105
販売費及び一般管理費	1,565,667	1,676,983
営業利益	726,497	498,121
営業外収益		
受取利息	7,280	6,749
為替差益	36,321	45,331
その他	41,843	37,960
営業外収益合計	85,445	90,041
営業外費用		
支払利息	281,327	335,610
その他	61,850	23,498
営業外費用合計	343,178	359,108
経常利益	468,765	229,054
特別利益		
固定資産売却益	326	360
雇用調整助成金	146,175	—
助成金収入	428,092	—
特別利益合計	574,594	360
特別損失		
固定資産除却損	7,657	2,695
減損損失	1,930	46,520
店舗閉鎖損失	—	3,000
店舗休止損失	395,452	—
その他	636	—
特別損失合計	405,676	52,215
税金等調整前四半期純利益	637,682	177,198
法人税、住民税及び事業税	60,834	66,200
法人税等調整額	91,704	101,736
法人税等合計	152,538	167,936
四半期純利益	485,144	9,261
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△3,306
親会社株主に帰属する四半期純利益	485,144	12,568

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
四半期純利益	485,144	9,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△931	△1,439
為替換算調整勘定	△39,296	△40,447
退職給付に係る調整額	5,809	5,708
その他の包括利益合計	△34,418	△36,178
四半期包括利益	450,725	△26,916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	450,725	△23,609
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△3,306

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(第三者割当による種類株式、新株予約権付社債及び新株予約権の発行)

当社は、2022年11月11日公表の「A種類株式、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債及び第2回新株予約権の発行並びに定款の一部変更に関するお知らせ」に記載のとおり、2023年1月20日開催の臨時株主総会において、第三者割当の方法によりAAGS S3, L.P. (以下、「AAGS S3」といいます。)にA種類株式、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債及び第2回新株予約権の発行を実施することについて決議し、以下のとおり払込手続きが完了いたしました。

(新株の発行)

当社は、2023年1月31日付けでAAGS S3を割当先とするA種類株式を発行し、同日付けにて1,999,952千円の払込みを受けました。この結果、資本金が999,976千円、資本準備金が999,976千円増加し、本四半期決算短信提出日時点において資本金が3,210,356千円、資本準備金が3,146,780千円となっております。

また、AAGS S3に2023年1月23日を割当日とした第2回新株予約権を発行し、2023年1月31日付けにて11,673千円の払い込みを受けました。この結果、新株予約権が11,673千円増加し、本四半期決算短信提出日時点において新株予約権が11,673千円となっております。

(社債の発行)

当社は、AAGS S3に2023年1月23日を割当日とした第1回無担保転換社債型新株予約権付社債を発行し、2023年1月31日付けにて1,499,988千円の払込みを受けました。この結果、社債が1,499,988千円増加し、本四半期決算短信提出日時点において社債が1,499,988千円となっております。

(株式の取得)

当社は、2023年2月10日開催の取締役会において、東急不動産株式会社(以下、「東急不動産」といいます。)の子会社である株式会社東急スポーツオアシス(以下、「東急スポーツオアシス」といいます。)のフィットネス運営、ホームフィットネス、スポーツ施設の管理運営受託及びデジタルヘルスデザインの各事業を会社分割により承継する新設会社(以下、「新東急スポーツオアシス」といいます。)の株式の一部(40.0%)を、2023年3月31日付で取得すること(以下、「本資本参加」といいます。)を決議しました。詳細は、本日公表の「新設会社『株式会社東急スポーツオアシス』への資本参加に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、本資本参加に伴い、新東急スポーツオアシスは当社の持分法適用会社となりますが、東急不動産の子会社としての位置付けの変更はありません。

1. 資本参加の内容

① 異動前の所有株式数	0株
② 取得株式数	160株
③ 異動後の所有株式数	160株
④ 株式取得日	2023年3月31日(予定)
⑤ 株式取得後の出資比率	40%

※取得価額につきましては、当事者間の協議により非開示とさせていただきます。

2. 資本参加の相手先の概要（新設会社）

① 名称	株式会社東急スポーツオアシス
② 所在地	東京都渋谷区道玄坂一丁目10番8号
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 山岸 通庸
④ 事業内容	会員制スポーツクラブの経営等
⑤ 資本金	100百万円
⑥ 設立年月日	2023年3月31日（予定）
⑦ 発行済株式数	400株
⑧ 決算期	3月
⑨ 大株主及び持株比率	東急不動産株式会社：60% 株式会社ルネサンス：40%

3. 日程

① 当社の取締役会決議日	2023年2月10日
② 本資本参加に関する契約書の締結日	2023年2月10日
③ 新東急スポーツオアシスの設立日	2023年3月31日（予定）
④ 当社の株式取得日	2023年3月31日（予定）

4. 今後の見通し

現時点において、本資本参加による当社の2023年3月期通期連結業績への影響は軽微であると見込んでおります。なお、2024年3月期通期連結業績への影響について、今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。